

期待される整備効果

高速道路の利便性向上

淡路島中央スマートICの整備により、神戸(垂水JCT)～洲本市中心部が約5分、四国(鳴門北IC)～洲本市北部及び西部間が約5～8分の移動時間の短縮が見込まれます。

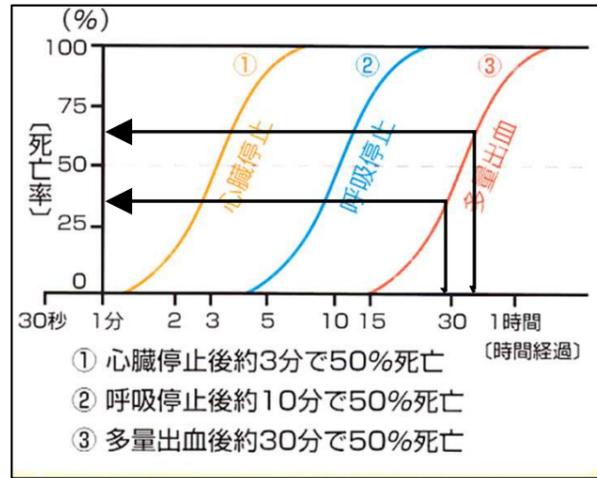
淡路島中央スマートICの時間短縮効果

区間	所要時間	所要時間 (淡路島中央 SIC利用)	短縮効果
① 神戸(垂水JCT) ～洲本市中心部 (洲本温泉)	約45分 (洲本IC利用)	約40分	約5分
② 四国(鳴門北IC) ～洲本市北部 (安乎海岸)	約35分 (洲本IC利用)	約30分	約5分
③ 四国(鳴門北IC) ～洲本市西部 (河上神社天満宮)	約35分 (西淡三原IC利用)	約27分	約8分



高度な医療サービスへのアクセスの改善

島内唯一の3次救急病院である県立淡路医療センターへの淡路島北部方面からのアクセス時間が短縮（淡路市東浦からの搬送所要時間が約5分短縮）できることから、30分圏域の拡大による重篤患者の受入など、広域的な救急搬送の充実が図られます。



多量出血の場合、搬送時間
5分短縮により死亡率は半減

観光資源へのアクセス向上

高速道路からのアクセス性の向上により、観光客や交流人口の増加を促すとともに、中川原地域の自然環境や五色地域の史跡・伝統文化を新たに観光資源として活用することで、沿岸部と中山間地域をつなぎ、一体的に観光振興を行うことが可能となります。



企業立地の増加

高速道路へのアクセス性の向上により、企業誘致にも弾みがつくことが期待されます。



- ・スマートIC計画決定後、4社が当該地域に進出
- ・今後も企業誘致を推進